

1 日 時

平成 31 年 3 月 26 日（火）10:00～12:15

2 場 所

かでの 2.7 1030 会議室

3 出席者

別添出席者名簿のとおり

4 議 事

(1) 北海道がん対策推進計画の推進状況について

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

<説明要旨>

■ がんの 1 次予防

- ・ たばこ対策では、健康増進法改正を受けての受動喫煙防止対策に係る説明会等の実施、生活習慣病ではがん教育出前講座を通して望ましい生活習慣の普及、感染症等対策ではホームページ等での普及啓発を実施。
- ・ たばこ対策については、議題「その他」においても説明を行う。

■ がんの早期発見・がん検診（2 次予防）

- ・ 受診率向上対策では、企業等と連携したリーフレットの配付、がん検診の精度管理等では、市町村がん検診の評価を実施し精度向上に向けての通知を発出、職域におけるがん検診では、企業における従業員のがん検診の実施状況の調査を実施した。

<質疑応答・意見等>

- 佐野委員：資料に指標の数字が載っていないのはなぜか。例えば「おいしい空気の施設」の登録であれば、これまで何件で今年は何件でした、ということが資料を読んでもわからない。
- 事務局：年度が終わっていないというところで載せていない。次年度の委員会で報告させていただく。
- 山田委員：がん検診の受診率が全国と比較すると低い状況にあるとのことだが、地域ごとのデータはあるのか。あと、マスコミと連携して実施率向上に向け、どのような取り組みをされているか。
- 事務局：がん検診の受診率の市町村ごとの把握に関しては、地域保健健康増進事業報告を使って算出している。受診率向上の取組に関しては、受診促進のパンフレットをショッピングセンターなどに配付させていただいている。
- 杉本委員：がんの検診の受診率について、大まかな数字とかそういうものはないのか。
- 事務局：計画の方に数値をお示ししている。検診受診率につきましては国の調査によるものですが 35% という数字で、これは全国の中で 42 位という低い数字になっている。市町村別の受診率については、がん検診の制度上、職場で検診を受けた方はカウントされない仕組みになっているという事もあり、都市部では受診率が低いという状況になっている。

- 川村委員：検診受診率が低い要因は、地区別・地域別どのように考えているか。
- 事務局：細かな分析はしていないが、広大で分散型と言う事で医療機関も少ないという地域では検診を受けるが少ないということや、漁業や農業をされている方は天候に左右されるということ由市町村の担当から伺っている。

## ②患者本位のがん医療の実現

### <説明要旨>

- がんの手術療法・放射線治療・薬物療法等の充実
  - ・ がん医療提供体制、各療法等、チーム医療については、がん診療連携協議会及び同協議会部会において情報共有を図り、また、拠点病院及び道指定病院の現況報告によりがん医療の状況把握を行った。
  - ・ がんゲノム医療については、中核拠点病院に北海道大学病院が、同病院の連携病院として札幌医科大学附属病院ほか3病院が指定されたところ。
- 後遺症対策等
  - ・ リンパ浮腫医療従事者研修会を北海道大学病院の協力のもと、平成24年から開催している。
- 女性特有のがん、希少がん、難治性がん
  - ・ 女性特有のがんは、パネル展において乳がん、子宮頸がんに関する普及啓発を実施、希少がん、難治性がんは、患者支援団体等との共催によるイベントを開催した。
- 小児がん、AYA世代のがん及び高齢者のがん
  - ・ 小児がんは、北海道地域小児がん医療提供体制協議会へ出席し情報共有を図り、AYA世代、高齢者のがんについては、ホームページにおける支援制度の情報提供を行った。
- がん登録
  - ・ がん登録・評価事業により、北海道のがん登録状況を取りまとめ公表した。二次医療圏ごとのがん罹患の状況等の分析を行う等、課題の抽出と施策の検討を行っていく。

### <質疑応答・意見等>

- 柴田委員：女性特有のがんのクーポン券がどれ位活用されているとか、各市町村と もっと連携をとるとか、取り組みの中にあっても良いと思う。ただパネル展とか普及啓発だけでは薄い。もう少し具体的な取り組みも必要と思う。
- 事務局：国庫事業で年齢は限られているが、初めて対象となる方に対して無料クーポン券を交付した場合に国からお金が出るという取り組みがある。活用の働きかけをしていきたい。具体数字ではないが、道内120位の市町村で活用して頂いているという状況である。
- 小谷委員：我々担当している口腔がんは希少がんに属し、頻度的には低いがんであるが、この度、某女優さんが「舌がん」という事でメディアに大々的に報道されたお陰で口腔外科の必要性が非常に高くなった。希少がん対策についてメディアでたまに取り上げて頂くことをお願いしたい。
- 清水委員：口腔がん検診は、最初歯科医師会のモデル事業から始まり、その後引き続き集団検診をさせて頂いている。毎年受診数が増え、がんは見つかる。毎年先生方も周知しており、町村で出向いて行くという事が大切と思っている。最近若い方にも出ているので今後も一緒にできたらと思う。
- 清水委員：高濃度乳房について、受診票をどうするか、お知らせした際の医療機関

への行き方など、医師会の先生のご指導を頂きながら対応している。より市民の方が興味を持ってもらえる様な検診体制にしたい、今後とも連携させて頂きたい。

### ③ 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

<説明要旨>

#### ■ がんと診断された時からの緩和ケアの推進

- ・ 拠点病院及び指定病院の現況報告により、緩和ケア提供の状況把握とともに、研修会などに関する拠点や指定病院からの照会の対応を行った。

#### ■ 相談支援、情報提供

- ・ がん診療連携協議会相談・情報部会や、北海道がん患者連絡会に出席し、情報共有を図った。

#### ■ がん患者等の就労を含めた社会的問題（サバイバーシップ支援）

- ・ がん患者就労支援研修会の開催や、長期療養者就職支援に係る協議会への参画などを通しての情報共有、患者支援団体等との共催によるイベントによる普及啓発を行った。

#### ■ がん教育、がんに関する知識の普及

- ・ がん教育を27校で実施するとともに、小学校高学年向けがん教育教材のDVDを作成した。

#### ■ 道民運動の推進

- ・ 六位一体協議会として、がんサミット2018を開催した。

<質疑応答・意見等>

- 河原崎委員：普及啓発の件で、この間テレビで日本対がん協会の宣伝で、今は助かる病気なんだよ、というポジティブな広告を流していた。検診を受けたくない、がんと言われたらもう終わりだと思ってしまう人もいますので、前向きな啓発、助かるんだというような事を啓発した方がよいと思う。
- 事務局：今のご助言を参考にしながらPRの文言のコンセプトを工夫し、各イベントにおいては関係団体やメディアの方々からの協力をお願いしたい。
- 川村委員：11ページ（がん教育）に課題分析等を行うとあるが、これに対する取組があれば教えて頂きたい。あと、前回の委員会の中でも専門看護師や認定看護師を巻き込んでという旨を話したが、どうしたら協力出来るのかを教えて頂きたい。
- 事務局：がん教育総合支援事業での課題分析の結果として、教員の知識の向上の部分、地域における外部講師の人材の情報共有、外部講師が参画する時の事前打ち合わせ等の労力、児童生徒、本人や家族にがんの患者や経験者がいる時の対応等があり、教育庁では外部講師のリスト作成、教員に対する研修という形で課題解決の方法が検討されているところであり、保健福祉部としても協力していきたいと考えている。
- 河原崎委員：小学校でのがんの講義、カリキュラムがびっしり詰まっている事もあり、一コマ付くのに結構抵抗があると聞いたことがあり、なかなか進まないのではとみているが、そんな事はないか。
- 加藤委員：生活習慣病みたいな授業が小学校でもあって、その中の一環として入っていく余地はある。町を上げて保健に対する意識が高いところの小学校からは来てくれと言われる。地域性みたいなところがあると思う。患者会にも連絡がきますよね。
- 柴田委員：患者連絡会の方からも派遣して患者の体験の話をさせてもらっている。私個人も砂川市から道のものとは別に小学校とかで看護師さんとセットでやらせてもらい好評を得ている。校長がOKであれば入りやすいと思う。

- 渡部委員：学校は教育課程を編成し、今くらいの時期に来年度何をするのが決まっている。ただし、必ず工夫の余地はあり、あとは学校の教育課程編成の中で、学校教育の目標を実現する上でがん教育を入れるという流れになれば、やりましようと言う事になると思う。小学校では来年度英語が入り、非常にタイトなスケジュールになってくるとは思うが、がんの緩和ケアなんかの話も高校の保健で扱うようになってきて、学習指導要領としては追い風になってきているところ。
- 佐野委員：最初にも言ったが指標がなく、どこを読んでも評価している様には思えない。評価と言うのは、例えばがん教育教材のDVDを作成しました、それに対する評価は何枚配布しました、それに対して学校がそれを使って授業を何コマやりました、だと思う。今日の中で評価と言えるのは1割にも満たない。総じて、どういう課題があるかという分析をまず全体として把握して頂きたい。

(2) がん患者の就労等に関する実態把握調査の結果について

<説明要旨>

■ がん患者・がん経験者対象の調査

- ・ 就労及び緩和ケアに関する意識・満足度に関する調査を実施し、回収率は28.7%であった。
- ・ 罹患後、就労に関し事業主へ仕事の継続について相談を行い、理解を得られたとする者が多かった。
- ・ 緩和ケアのイメージとして、終末期ケアと認識している人が多かった。

■ 企業対象の調査

- ・ がん患者に対する就労支援及び従業員のがん検診に関する調査を実施し、回収率は44.7%であった。
- ・ 行っている支援として、治療日の有給休暇、職場内のフォロー、配置転換を行うところが多かった。
- ・ 従業員への検診受診の促進の取り組みについては、特に行っていないというところが半数以上であった。

<質疑応答・意見等>

- 柴田委員：がん患者のアンケートだが、回収が少ないというのが印象。がんサロンとか、そういうところの協力も得ることもあっても良かったのではと思う。
- 河原崎委員：回答数が少ないので何とも言えないが、資料2-3の2ページで空知の居住者は札幌で受療している状況。空知地方のがんの医療というのはどうなのか。
- 事務局：地域で完結する医療の部分と内容によっては札幌圏の病院で対応をする部分もあるのかと思う。道民の方が身近な地域でがん医療が受けられる様な連携体制をこれからも拠点病院等の皆様と協力して進めて行く必要があると考えている。
- 川村委員：がんの患者のアンケートだが、入院患者が少ないなどの偏りや、企業の方も従業員数が少ない企業が4割で回収のバラツキなど、何かバイアスがある気がするが如何か。
- 事務局：配付の依頼の際には、広い年代層で男女均等に、入院・通院も含めてとお願いしたところであるが、結果としてこういう形となった。がんサロンでの配付については今後行う際に検討したい。道内の企業の規模の中心的なのが従業員10人とかであり、最初から従業員数に応じて配布する企業数をまず絞り込んだ。
- 山田委員：企業向けのアンケートだが、恐らく建設業の回答が多いので、男性の比率が多いと想像する。女性のがん対策の推進を考えると、男女比のバランスの把握に

より乳がん、子宮頸がんに対するサポート内容も分析できるかも知れないので、次回項目等を追加されては如何か。

(3) 北海道がん対策推進委員会専門部会の開催状況

<説明要旨>

■ がん登録専門部会

- ・ がん登録の情報の提供可否について、関係資料を委員に送り、書類審議を実施した。結果、提供可として希望された方にがん登録の情報を提供した。

■ がん検診専門部会

- ・ 1回目は、がん検診精密検査受診率、市町村がん検診チェックリスト遵守状況調査、市町村がん検診における精度管理の報告を受け、指導内容等を協議した。
- ・ 2回目は、検診機関向けのチェックリスト遵守状況調査の結果、検診機関の精度管理指標数値の報告を受け、市町村と検診機関、医師会との連携について意見が出た。

<質疑応答・意見等>

なし。

(4) その他

① 北海道がん対策推進条例の一部改正について

<説明要旨>

- 平成30年7月の健康増進法の一部改正に伴い、がん対策推進条例の中で用いている受動喫煙の定義を改正した。

<質疑応答・意見等>

なし。

② たばこ対策の取組状況について

<説明要旨>

- 現在、平成30年3月に改訂した北海道健康増進計画すこやか北海道21で定めた喫煙領域の目標を実現するため、たばこ対策推進計画で施策の方向性や取り組みを明確にし、対策を推進している。

- 今年度の主な取り組みは、一つ目として札幌よしもとと委託契約を結び、喫煙率低下に向けた短編動画や子ども・妊産婦向けの喫煙防止に向けたDVDを作成した。二つ目は、健康づくり財団と契約を結び、禁煙治療医療機関に導入する啓発資材、喫煙の害、禁煙外来に関する情報等を発信するホームページを作成した。三つ目は、改正健康増進法の公布に伴う受動喫煙防止等に関する制度の内容について、道内6箇所で開催した。

- 受動喫煙防止対策の更なる推進を図るため、条例の制定に向けた検討を始めた。受動喫煙防止対策専門部会での検討にあたっては、幅広く団体や事業者の方からご意見を伺うためのヒアリングを予定している。

<質疑応答・意見等>

なし。

③ 北海道がん対策推進委員会委員の改選について

<説明要旨>

- 次回の改選において、公募委員2名のうち1名を北海道がん患者連絡会から推薦を頂くこととする。

- 市町村職員の枠の委員については、今月末の退職に伴い辞任意向があるため他の市

町村からの選出ということも含めて選出を進めていきたい。その他の委員は再任をお願いしたい。

<質疑応答・意見等>

なし。

④連絡事項

<説明要旨>

■ 本日の協議中、指摘があったがん対策推進計画進捗状況の実績値については、可能な限り数値を入れ、評価についても整理し直し、次回の委員会まで提供する。

<質疑応答・意見等>

なし。